

アクティブライフ文化超創コンソーシアム 2019 年度第 3 回セミナー  
『イノベーション創出の体感！低酸素トレーニングから覗く未来』を開催しました

立命館大学では、産官学融合による科学技術イノベーションを創出するプラットフォームの構築と、大学院教育において時代を先導する新しい分野「アクティブライフ」を学ぶ人財を産業界へ輩出することを目的として「アクティブライフ文化超創コンソーシアム」（企業および自治体 37 団体）を形成しております。このたび 2 月 21 日に会員向け事業として第 3 回セミナーを開催いたしました。

本コンソーシアムのセミナー企画ではアクティブライフをテーマに、内外の実務経験者や本学研究者の講演による情報提供と、コンソーシアム会員同士や教職員・学生をつなぐ異業種等の交流を実施しております。

今回のセミナーでは、会員企業であるアシックス様が開業された都市型低酸素環境下トレーニング施設としては世界最大級の「ASICS Sports Complex TOKYO Bay（豊洲）」を会場とし、イノベーション創出の“学び”と“体感”を融合した初の体験型企画を実施しました。

はじめに「スポーツビジネスにおけるイノベーション創出の実践」と題しアシックスベンチャーズ株式会社代表取締役社長蔭山広明氏にご講演頂きました。ベンチャー企業との事業連携強化を目的とする投資会社として、新規事業創出の様々な手法と事例をご紹介頂きました。次に「低酸素環境での運動による多様な効果と新たな可能性」と題して本学スポーツ健康科学部の後藤一成より低酸素環境下における生体反応に関する研究報告や未来のヘルス・イノベーションの可能性について講演いたしました。

その後、会場施設を利用し、参加者それぞれの低酸素耐性チェックや、標高 2000m 級の酸素濃度に設定された環境でのトレーニングを実際に体験し、未来の健康、アクティブライフ文化を創造するための視点・気づきの機会をご提供いただきました。

今後、本コンソーシアムの活動において、オープンイノベーションプラットフォームとしての機能を携えたコンソーシアムを目指すとともに、さらなる人財育成の場を形成してまいります。

